**当社社長本蔵の開所式での挨拶（全文）**

マグネデザイン株式会社の本蔵義信です。高い席からではございますが、主催者を代表してあいさつを申し上げさせていただきます。

まず初めに、お忙しい中、当社の開所式にご参加くださったこと、御礼申し上げます。

今日は、主賓として、齋藤宏一美浜町長、　宮田昌彦朝日インテック代表取締役社長、松田正久同朋大学学長、スペインからArcady Zhukov教授、米国シリコンバレーから石井正純AZCA代表取締役社長をお迎えしています。

また、海外からは、欧州から3名、米国から6名、中国、台湾、韓国、インドネシアなどのアジア各国から16名の方々をお招きしています。

国内からは、大学関係者として、22名の大学教授の方をお招きしています。

取引業者の方々、地元の方々、私の古くからの友人、および当社の社員、合わせて２００名以上の方々にご参加をいただき、誠にありがとうございます。

当社は、10年前に私が愛知製鋼の専務取締役を退任した後、Magnetics分野の研究開発会社として設立した会社です。16年に新型磁気センサGSRセンサを発明し、NHK報道や国際会議で注目を集めるに至りました。大きく飛躍しようとしていたところ、愛知製鋼との裁判トラブルがあり、それを昨年やっと解決し、現在再スタートしたところです。

再スタートにあたり、美浜研究所を設立し、ここを拠点に、研究開発を行っていく所存です。美浜研究所はMagnetics技術に特化した研究所で、大学の研究室にも負けないレベルと自負しています。今日の見学会で、研究施設をご覧になっていただきたいと思います。

　また朝日インテックの宮田社長のご協力をいただき、合弁企業マグネア社を設立し、基礎研究はマグネデザイン社で、商品開発と事業拡大はマグネア社で取り組む体制が出来上がりました。

美浜研究所の建設と合弁企業の設立によって、当社のMagnetics分野の研究開発と新市場創出が一挙に進むものと考えています。

開所式と同時に、磁気センサ国際シンポジウムとデンタル磁石国際シンポジウムの二つの国際シンポジウムを開催します。この国際シンポジウムは、米国、欧州、アジア各国の研究者と多くの日本の大学教授との連携で推進しているもので、当社の研究開発の基盤的力となっているものです。そちらにもぜひご参加賜れば幸いと思います。

長くなりましたが、以上でもって主催者からの挨拶とさせていただきます。開所式へのご参加、本当にありがとうございます。本日はよろしくお願いします。